MASPRO

屋外(内)用　UHFブースター（家庭用）

UHF BOOSTER
増幅チャンネル UHF ch.13～52

取扱説明書
保証書付

DIGITAL デジタル放送対応

UB35　35dB型

UB41　41dB型

F型端子

FM・VHF、CATVには使用できません。

MASter of PROduction 生産の覇者

UB35 増幅部
屋外(内)用

UB35 電源部
屋内用
(屋外で使用しないでください。)

目次

ページ

付属品 ………………………………… 1
安全上のご注意 ………………………… 2
使用上のご注意 ………………………… 4
各部の名称と機能 ……………………… 6
接続例 ………………………………… 7
ブースターを取付ける ………………… 8
ケーブルにF型コネクターを取付ける ………11
ブースターにケーブルを接続する ……………11
ブースターの接続を確認する …………………12
ブースターを調整する ………………………13
テレビがきれいに見られないときは …………15
規格表 …………………………………………16

付属品

F型コネクター(5Cケーブル用)……… 4個
防水キャップ(大)……………………… 2個

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

各種デジタル放送を、より高画質で見るために、妨害電波の影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。

必ずお読みください　安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「安全上のご注意」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	△ 記号は、注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。
⃠	⃠ 記号は、禁止の行為を示しています。
❗	● 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

⚠ 警告

- ●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災·感電の原因となります。
- ●ACコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、熱器具に近付けたりしないでください。ACコードが破損して、火災·感電の原因となります。ACコードが傷んだ場合（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災·感電の原因となります。
- ●増幅部および電源部の内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災·感電の原因となります。
- ●電源部は、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
  - ・押入れ·本箱·天井裏など風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
  - ・布や布団でおおったり、包んだりする。

- ●増幅部および電源部のケースを取外したり、改造したりしないでください。また、増幅部および電源部の内部には触れないでください。火災·感電の原因となります。内部の点検·調整·修理は必ず販売店にご依頼ください。
- ●電源部を、風呂場·シャワー室などで使用しないでください。火災·感電の原因となります。
- ●電源部に水をかけたり、濡らしたりしないようにしてください。電源部の上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災·感電の原因となります。ペットなどの動物が、電源部の上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災·感電の原因となります。
- ●濡れた手で、ACプラグを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ●雷が鳴出したら、増幅部·電源部およびケーブル·ACプラグ·ACコードには触れないでください。感電の原因となります。

安全上のご注意 つづき

⚠ 警告

- 万一、増幅部および電源部の内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、増幅部および電源部を落としたり、ケースを破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また、テレビの画像が映らない、音声が出ないなどの症状があるときも、テレビと共に電源部のACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

- 増幅部と電源部は、必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと組合わせて使用しないでください。火災の原因となります。
- ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となることがあります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

⚠ 注意

- 増幅部および電源部は、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 増幅部および電源部は、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となることがあります。壁に設置する場合、接着剤やテープなどで取付けないで、壁面取付用木ネジでしっかりと取付けてください。
- 増幅部および電源部は、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACプラグをACコンセントから抜くときは、ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。
- ACコードは、結んだり、束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。
- 腐蝕が進んで劣化した増幅部の取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害を与える原因となることがあります。増幅部の取付金具は、定期的に点検してください。

- 電源部を移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。

- お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- テレビやチューナーからの75Ωケーブルをブースターへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いてください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。

- 増幅部を取付けるときは、落下防止のため、ネットを張ったり、増幅部や工具を固定物にヒモで結んだりするなどの安全対策をしてから作業してください。
- 増幅部のケース・取付金具・マストなどに異常があったり、蝶ナットなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は必ず点検してください。増幅部が破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、ケースや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。

- テレビ受信工事には技術と経験が必要ですから販売店にご相談ください。

使用上のご注意

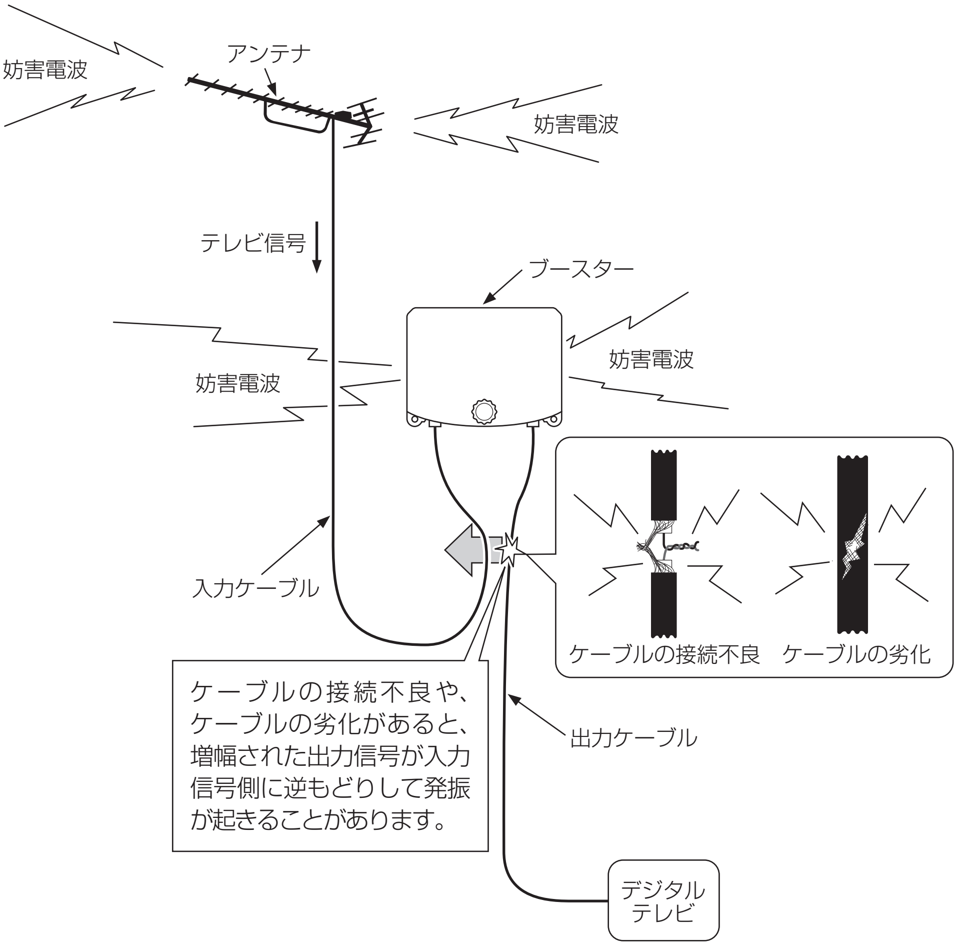
発振防止のために

ブースターは、ケーブルの配線方法を誤ると「発振」して、きれいなテレビを見ることができなくなります。ブースターが発振すると、妨害電波を発射して、周辺の家庭にも大変な迷惑をかけます。たった1台からの発振が、3,000世帯のテレビ画像に妨害をおよぼしたり、携帯電話などへの妨害で、通信ができなくなった例もあります。
この「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

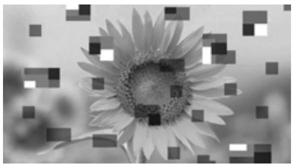
正しく取付ければ、ブースターは発振しません。

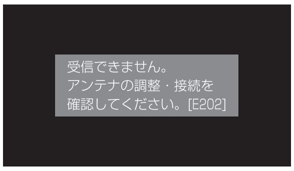
発振とは

ブースターの出力信号の一部が入力側に逆戻りすると、発振という現象が起きます。例えば、スピーカーにマイクを近づけると、「キィーン」という音がします。これも一種の発振現象です。
ブースターは利得の大きい高周波増幅器ですから、下図のように入力と出力のケーブルが接近したりケーブルが正しく接続されていなかったりすると、出力信号の漏れが入力側に逆もどりして、ループ状に信号が増幅され発振することがあります。
（テレビ画面に妨害が出ず、気がつかないうちに携帯電話など、他の機器に妨害を与えることがあります）



発振によって妨害を受けている画像の例


モザイク状のノイズ※



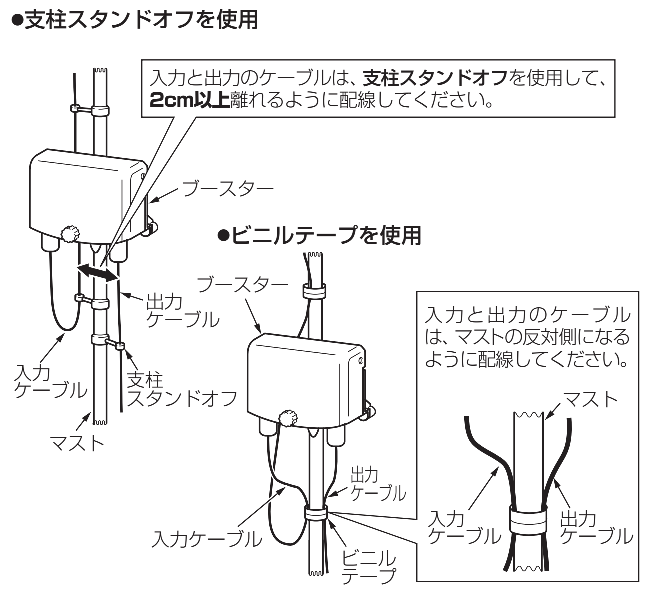
ブラックアウト※

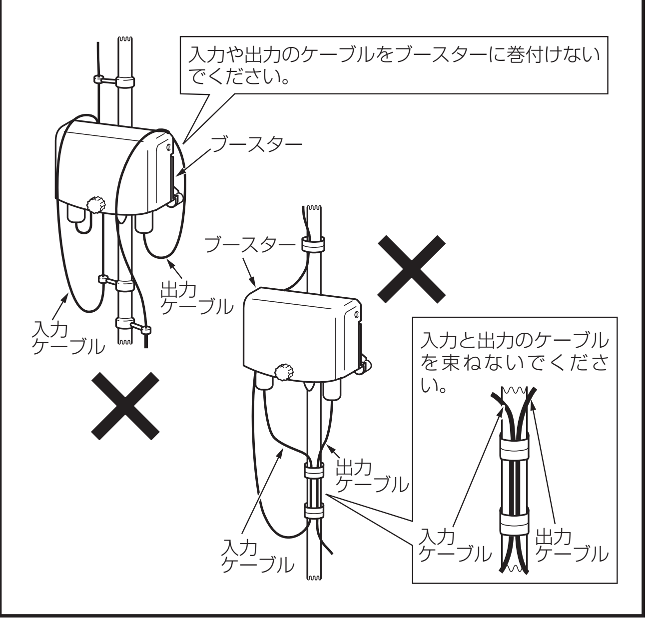
※発振していなくても、信号レベルが低かったり、高すぎたりしたときも、同様の症状になります。

正しい取付方法

① 入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けたりしないでください。

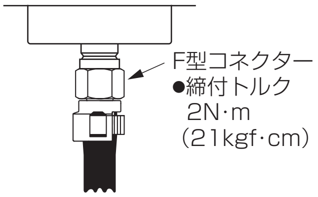
正しい配線方法	悪い配線例





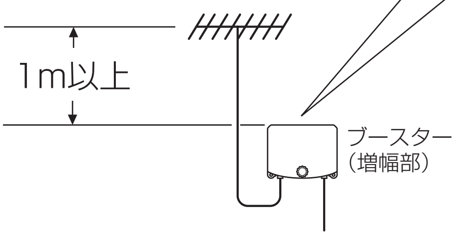
② 入力端子・出力端子の接続は、取扱説明書にしたがい、確実に行なってください。

接続するF型コネクターを指定のトルクで締付けてください。



③ マストに取付ける場合、アンテナとブースター（増幅部）の間は、1m以上離してください。

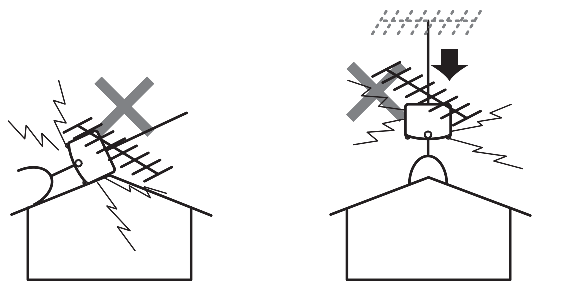
アンテナとブースター（増幅部）の間は、**1m以上**離してください。接近しすぎるとブースターが発振して、受信障害になることがあります。



ブースター取付後は定期的に点検してください

- 発振は、下図のような設置後のトラブルが原因でも発生します。マストやアンテナ·ブースターの取付状態、ケーブルの劣化·破損などを定期的に点検してください。また、台風や大雪の後は、必ず点検してください。
  （経年変化や強風などによって、マストやアンテナが傾いたり倒れたりすることがあります。）
- マストやアンテナ、ブースターの取付状態に異常があった場合、ただちにブースター（電源部）のACプラグをACコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

マストが倒れていませんか　**アンテナが外れていませんか**



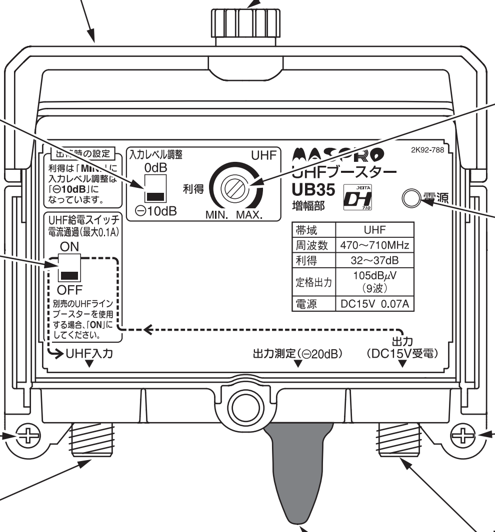
各部の名称と機能

増幅部（ふたを開けた状態）

UB35、**UB41**とも名称と機能は同じです。

ふたの開閉について

●ふたを開けるときは、ふた固定ビスをゆるめてから、手前に引上げてください。
●ふたを閉めたあとは、必ず手で、ふた固定ビスをしっかりと締付けてください。



ふた

ふた固定ビス

入力レベル調整スイッチ
（p.14）
入力レベルを調整する場合、使用します。

利得調整
（p.14）
出力レベルを調整する場合、使用します。

UHF給電スイッチ
（p.13）
UHF入力端子に、別売のUHFラインブースターを接続する場合、使用します。（電流容量 最大0.1A）

電源（増幅部作動）表示灯
増幅部の作動時は「**緑**」に点灯します。

壁面取付用木ねじ
（p.9）

壁面取付用木ねじ
（p.9）

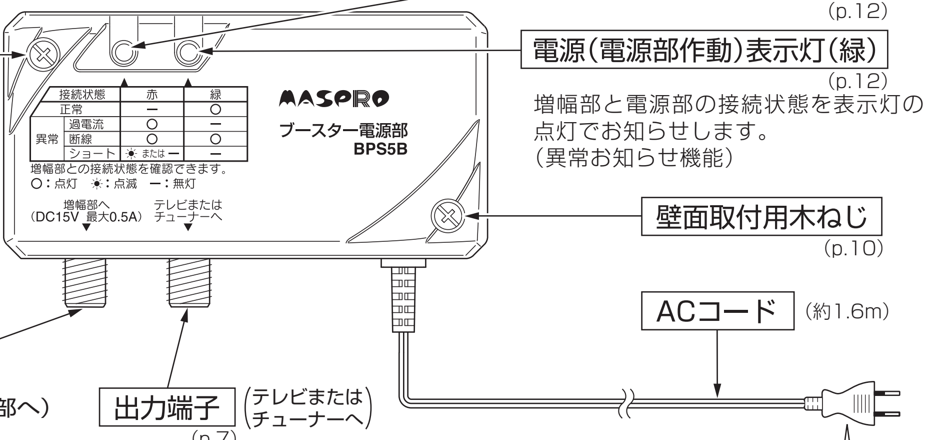
UHF入力端子
（p.7）
UHFアンテナからのケーブルを接続します。

出力端子（DC15V受電端子）
（p.7）
電源部の入力端子からのケーブルを接続します。

出力測定端子（⊖20dB）
（p.14）
●レベルチェッカーなどを接続して、出力レベルが測定できます。
（測定値＋20dB＝出力レベル）
●測定する場合、防水キャップ(小)を取外してください。

ご注意
測定後は、必ず防水キャップ(小)を取付けてください。
取付けないと、雨水が入り、故障の原因となります。

電源部



電源（電源部作動）表示灯（赤）
（p.12）

電源（電源部作動）表示灯（緑）
（p.12）
増幅部と電源部の接続状態を表示灯の点灯でお知らせします。
（異常お知らせ機能）

壁面取付用木ねじ
（p.10）

壁面取付用木ねじ
（p.10）

ACコード（約1.6m）

入力端子（増幅部へ）
（p.7）
増幅部の出力端子からのケーブルを接続します。

出力端子（テレビまたはチューナーへ）
（p.7）

ご注意
電源部は、卓上ブースターではありません。

ご注意
ACプラグ（AC100V）は、設置工事がすべて終了してから、ACコンセントに差込んでください。

接続例（増幅部の出力を4分配する場合）

●p.8 ～ 11にしたがって、ブースターを設置してください。
●p.13「**ブースターを調整する**」までは、UHF給電スイッチ、入力レベル調整スイッチおよび利得調整を操作しないでください。

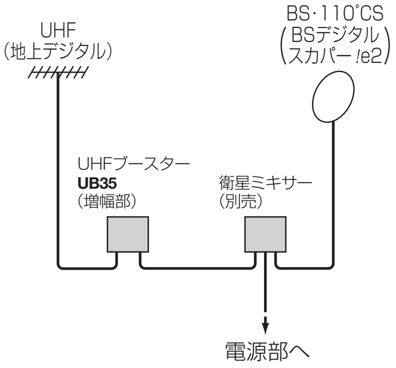
ご注意

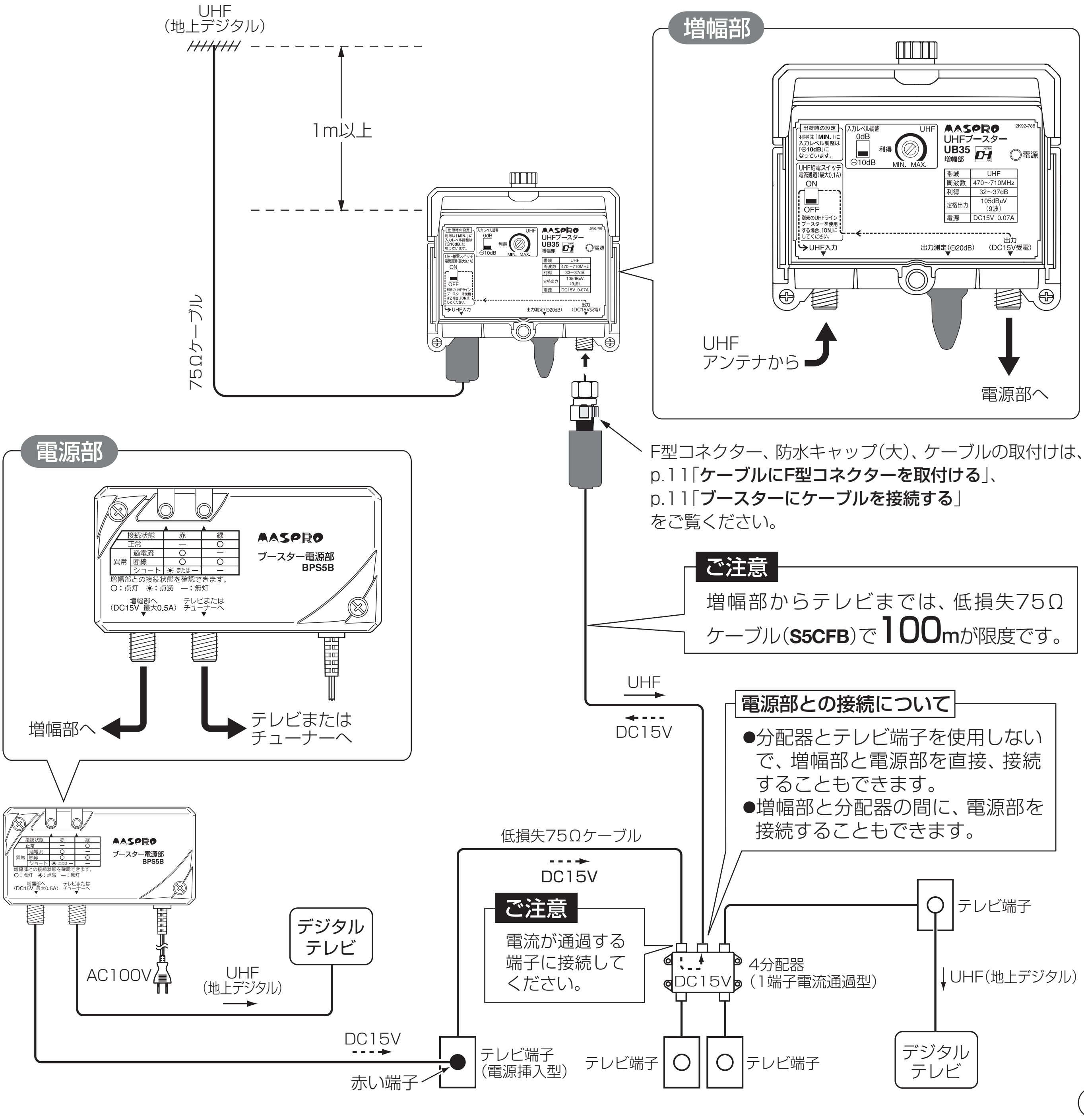
- ACプラグ(AC100V)は、設置工事がすべて終了してから、ACコンセントに差込んでください。
- UHFアンテナと増幅部は、1m以上離してください。アンテナの性能が劣化したり、ブースターが発振して受信障害となったりすることがあります。
- 増幅部は、できるだけアンテナの近くに設置してください。増幅部は、信号だけでなく雑音も増幅しますから、増幅部の入力レベルが低いと、ブースターの効果を充分に発揮できません。
- 増幅部と電源部の間で使用する分配器は、1端子電流通過型をおすすめします。全端子電流通過型を使用する場合、電圧降下の影響で配線距離を短くしなければなりません。

BS・110°CS放送(BSデジタル・スカパー !e2)もご覧になるときは

別売の衛星ミキサーを使用すれば、本器の電源部をそのまま利用して、BS・110°CS放送(BSデジタル・スカパー!e2)も視聴できます。

（視聴できるデジタルテレビまたはデジタルチューナーが必要です。）





F型コネクター、防水キャップ(大)、ケーブルの取付けは、p.11「**ケーブルにF型コネクターを取付ける**」、p.11「**ブースターにケーブルを接続する**」をご覧ください。

ご注意

増幅部からテレビまでは、低損失75Ωケーブル(**S5CFB**)で**100m**が限度です。

電源部との接続について

- 分配器とテレビ端子を使用しないで、増幅部と電源部を直接、接続することもできます。
- 増幅部と分配器の間に、電源部を接続することもできます。

ご注意

電流が通過する端子に接続してください。

ブースターを取付ける

増幅部、電源部を取付けます。

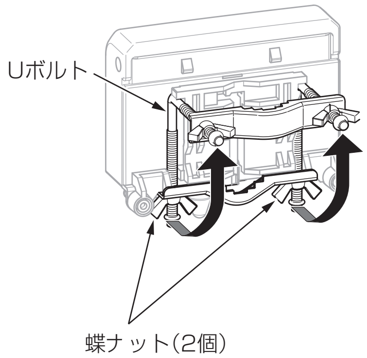
ブースターは、正しくお使いください

- ●増幅部を屋外に取付ける場合、入力端子と出力端子(防水キャップ)が必ず下向きになるように取付けてください。
- ●増幅部はふたをしっかりと閉めてください。
- ●電源部は屋外で使用しないでください。

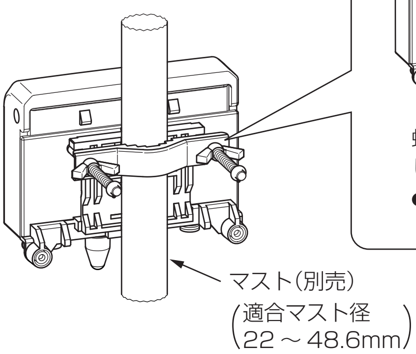
増幅部を取付ける

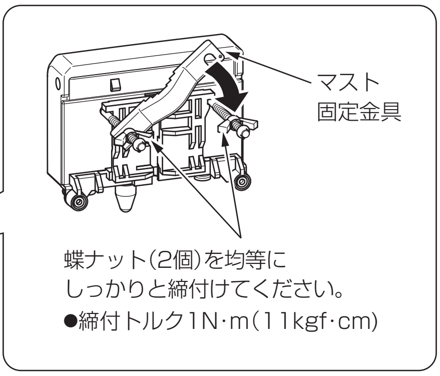
垂直のマスト

①蝶ナット(2個)をゆるめて、Uボルトを起こします。



②蝶ナット(2個)を指定のトルクで締付けて、マスト固定金具でマストに固定します。





ご注意

入力端子·出力端子(防水キャップ)が下になるように取付けてください。

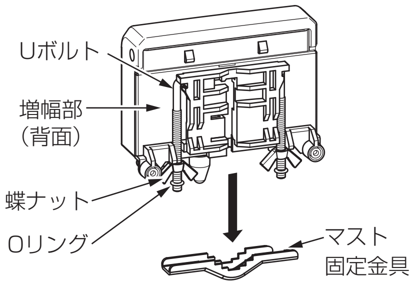
48.6mm以上のマストのときは

市販のステンレスベルトを使用して取付けられます。
(市販のステンレスベルトの取付方法は、ステンレスベルトの取扱説明書をご覧ください。)

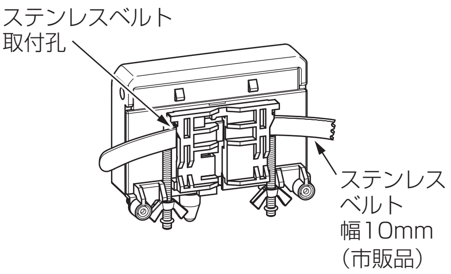
ご注意

直径22mm以下のマストの場合、ステンレスベルトの金具の形状によっては取付けられないことがあります。

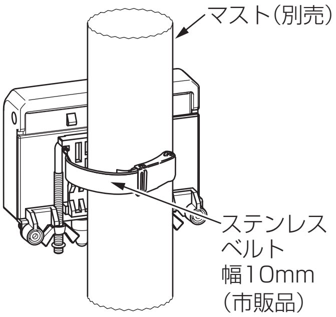
①Oリング、蝶ナットを取外します。
②マスト固定金具を取外します。
③蝶ナットとOリングをUボルトに取付け、蝶ナットを増幅部に押し付けるように締付けて、Uボルトを固定します。



④市販のステンレスベルト(幅10mm)を増幅部のステンレスベルト取付孔に通します。



⑤マストに取付けて、ステンレスベルトをしっかりと締付けます。

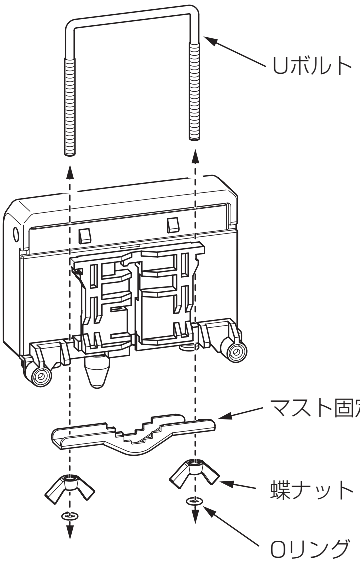


水平(横方向)のマスト

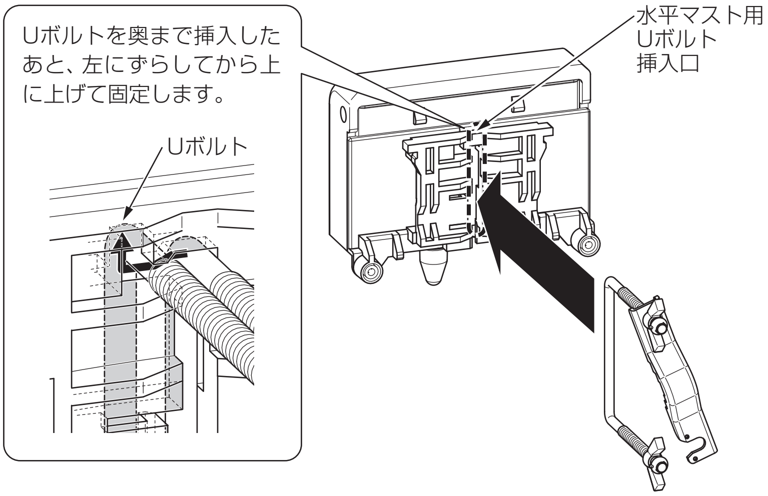
ご注意

ステンレスベルトを使って水平(横方向)のマストに取付けることはできません。

① Uボルト、マスト固定金具、蝶ナット、Oリングを取外します。
(Uボルトは、抜け防止のため、外れにくいことがあります)



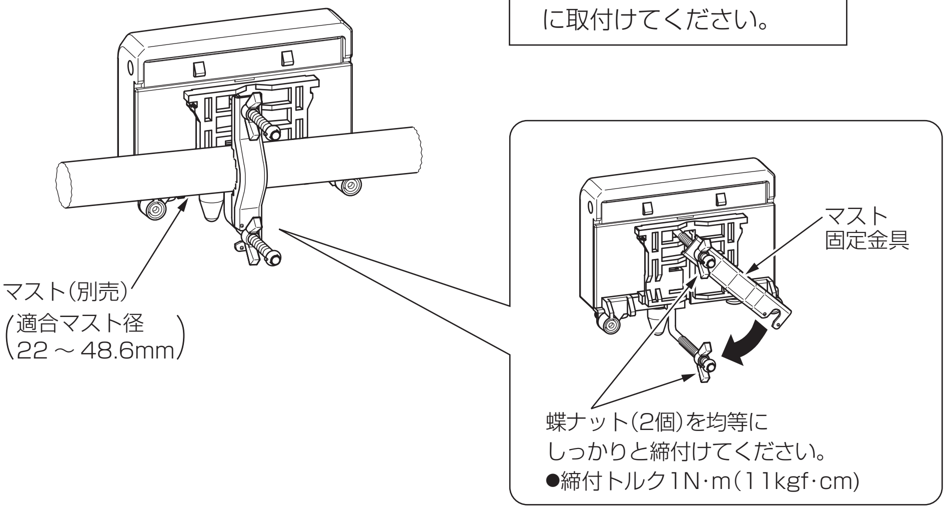
②再び、Uボルト、マスト固定金具、蝶ナット、Oリングを組付けて、Uボルトを水平マスト用Uボルト挿入口に挿入します。



③ 蝶ナット(2個)を指定のトルクで締付けて、マスト固定金具でマストに固定します。

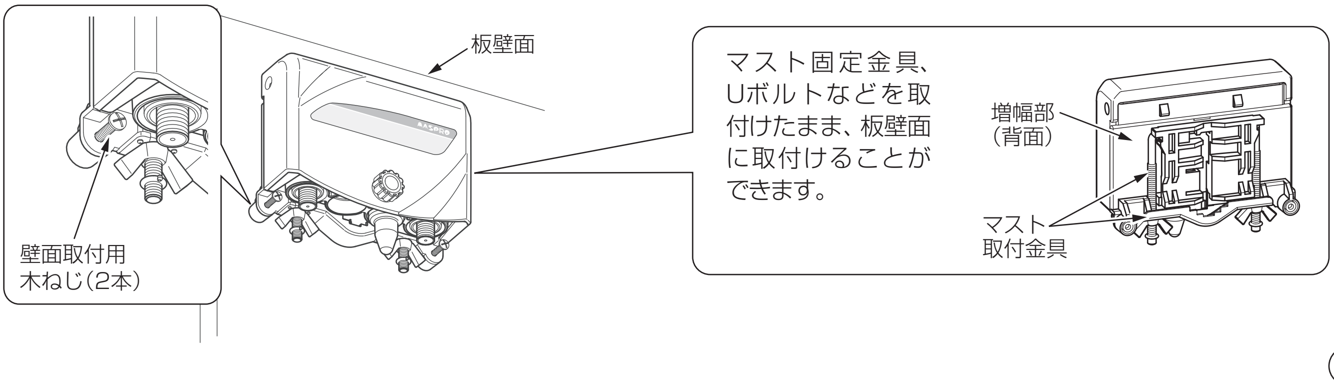
ご注意

入力端子･出力端子(防水キャップ)が下になるように取付けてください。



板壁面

ドライバーで、増幅部に付いている壁面取付用木ねじ(2本)を板壁面にねじ込みます。



ブースターを取付ける つづき

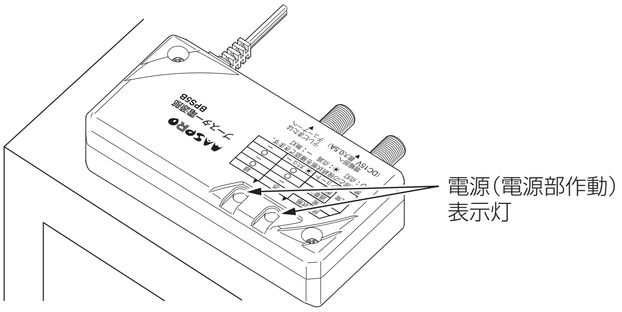
電源部を取付ける

ご注意

●電源部をラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオと電源部を離してお使いください。
●電源部は、温度が上昇しないように、風通しのよい場所に設置してください。また、長期間、ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

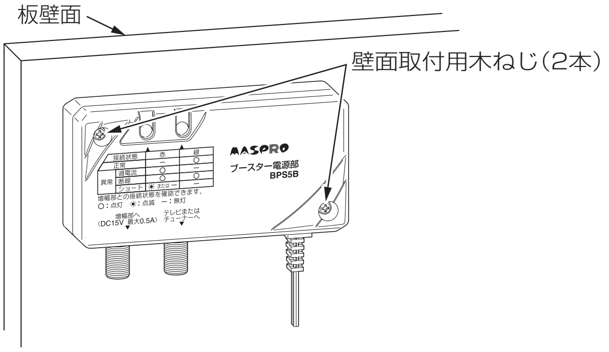
据置き

電源(電源部作動)表示灯を上側にして、
テレビラックの上などに横置きにします。



板壁面

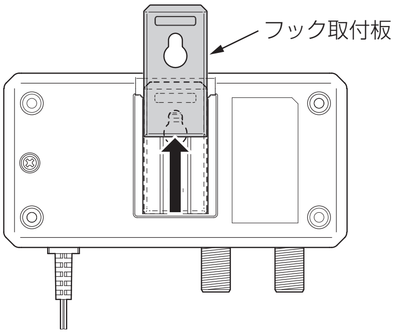
ドライバーで、電源部に付いている壁面取付用木ねじ
(2本)を板壁面にねじ込みます。



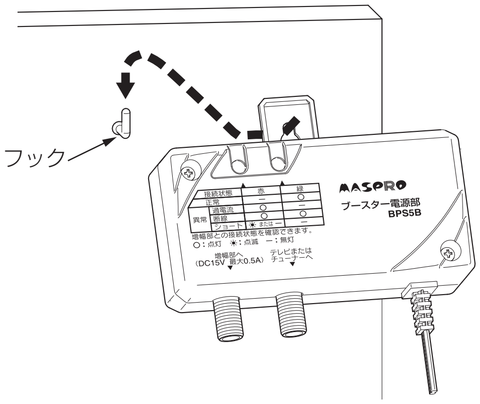
壁面などのフックに掛ける

電源部の背面にあるフック取付板で、壁面に取付けた市販のフック
などに電源部を掛けることができます。

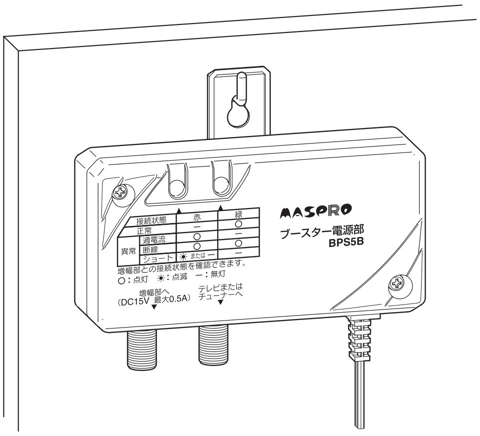
① 背面のフック取付板を引き出します。



② 壁面に取付けた市販のフックにフック取付板の⌂孔
を引っ掛けます。



フックに掛けた状態

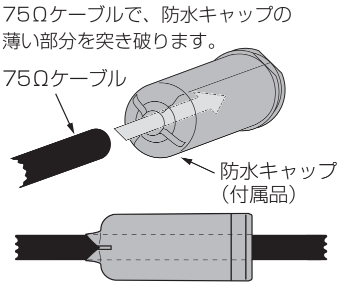


ケーブルにF型コネクターを取付ける

F型コネクターは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

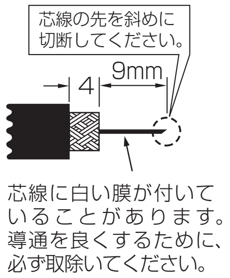
●接触不良やショートを防ぐため、コネクターはていねいに取付けてください。
●75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
●付属のF型コネクターは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクターをお使いください。

①ケーブルを付属の防水キャップに通してください。



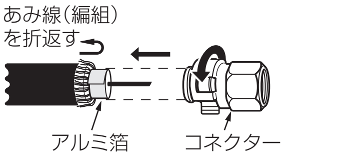
②ケーブルの加工

（加工寸法は原寸大です）



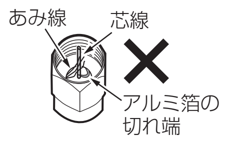
③コネクターの取付け

1.あみ線（編組）を折返してください。
2.コネクターの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にコネクターを回しながら、しっかりと押し込んでください。



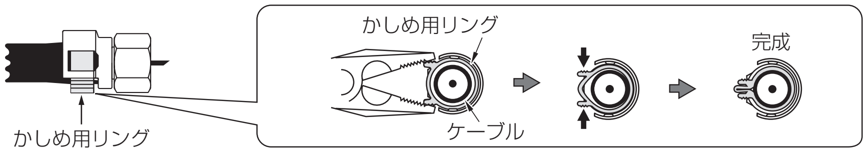
あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線（編組）やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。

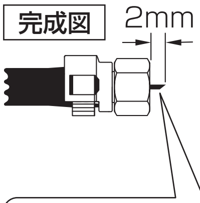


④かしめ用リングをペンチで圧着

コネクターが抜けないように、しっかりと圧着してください。



完成図



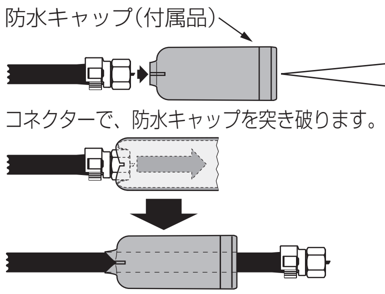
芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクターが破損して機器が故障します。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。

コネクター取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます



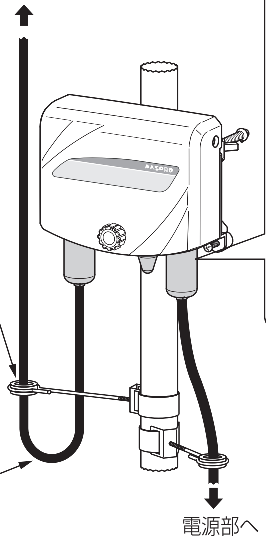
⚠注意

防水キャップを突き破ったときに、コネクターの芯線が指にささらないように注意してください。

ブースターにケーブルを接続する

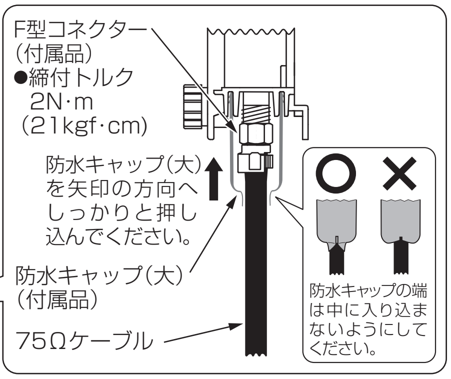
75Ωケーブルを、増幅部と電源部に接続して、F型コネクターを指定のトルクで締付けます。

増幅部



ケーブルの固定には、別売の**支柱スタンドオフ**を使用してください。

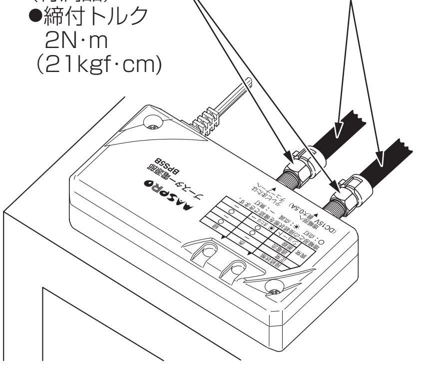
ケーブルをつたって雨水がケースに入らないように、ケーブルをU字型に配線してください。



ご注意

防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

電源部



ブースターの接続を確認する　異常お知らせ機能

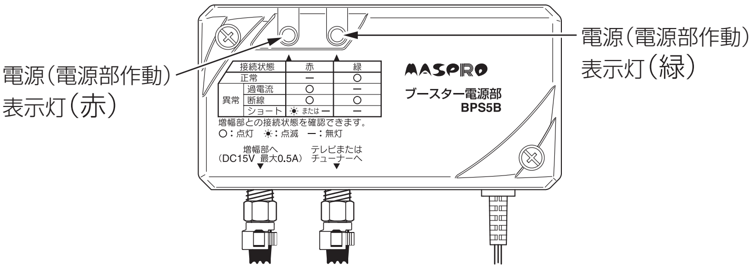
設置工事がすべて終了したら、ACプラグをACコンセントに差込んで、増幅部と電源部の接続状態を電源（電源部作動）表示灯で確認します。

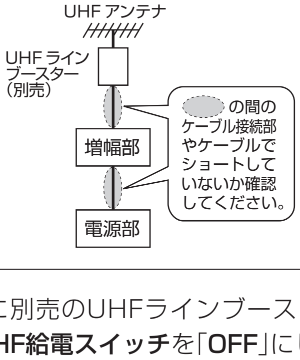
異常のときは

① ACプラグをACコンセントから抜いてください。
② 下表を参考に、原因を取除いてください。
③ 正常に作動させるために、ACプラグをACコンセントから抜いて1分以上たってから、ACプラグをACコンセントに差込んでください。

ご注意

電源（電源部作動）表示灯は、増幅部と電源部の接続状態を表示するもので、テレビ信号の状態を表示するものではありません。



<table>
<tr><th colspan="2">表示灯</th><th rowspan="2">作動状態</th><th rowspan="2">原因</th><th rowspan="2">処置</th></tr>
<tr><th>赤</th><th>緑</th></tr>
<tr><td>無灯</td><td>点灯</td><td>正常</td><td>―――</td><td>―――</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>無灯</td><td>過電流（異常）</td><td>出力電流が規格値（0.5A）を超えている。</td><td>増幅部、BS·110°CSアンテナ、UHFラインブースター以外に、電源が供給される機器が接続されて、過電流になっていないか確認してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">点灯 ※</td><td>断線（異常）</td><td>増幅部に電源が供給されていない。</td><td>●F型コネクターの芯線が短くないか確認してください。
●増幅部と電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。
●増幅部と電源部の間に、電流通過しない機器が接続されていないか確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">点滅または無灯</td><td rowspan="2">無灯</td><td rowspan="2">ショート（異常）</td><td>増幅部に、正常に電源が供給されていない。</td><td>●F型コネクターの芯線にあみ線（編組）やアルミ箔が触れていないか確認してください。
●増幅部と電源部の間、または、UHFラインブースターと増幅部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。

</td></tr>
<tr><td>増幅部のUHF給電スイッチの設定が間違っている。</td><td>●増幅部の入力側に別売のUHFラインブースターを接続していない場合、必ずUHF給電スイッチを「OFF」にしてください。
（p.13「1.UHF給電スイッチを設定する」参照）</td></tr>
</table>

※増幅部と電源部を接続しないで、ACプラグをACコンセントに差込むと、断線と判断して、赤と緑の表示灯が点灯します。

ブースターを調整する

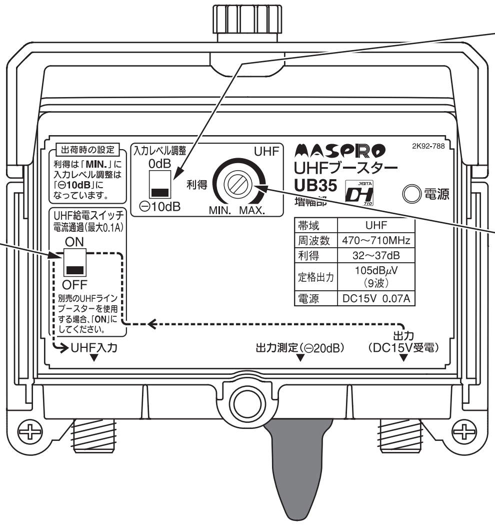
●1 ～ 3の手順にしたがってブースターを調整します。
●ブースターの調整は、UHF給電スイッチ「OFF」、入力レベル調整スイッチ「⊖10dB」、利得調整「MIN.」の状態から始めてください。

ご注意

●スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると、こわれることがあります。
●利得調整を操作するときは、調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと、こわれることがあります。
●ブースターの調整は、2人以上で行うことをおすすめします。

デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらなかったり、下がったりすることがありますが、ブースターの不具合ではありません。
「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、信号品質（CN比）の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。



2. 入力レベルを調整する
（p.14）

1. UHF給電スイッチを設定する

3. 出力レベルを調整する
（p.14）

ご注意

別売のUHFラインブースター **UB18L-P**を接続しない場合、UHF給電スイッチを必ず「**OFF**」にしてください。

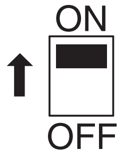
1. UHF給電スイッチを設定する

● UHFアンテナの出力端子に、別売のUHFラインブースター**UB18L-P**を接続する場合、UHF給電スイッチ「**ON**」にすると、ブースターの電源部から電源（DC15V）を供給できます。
● 出荷時は「**OFF**」になっています。

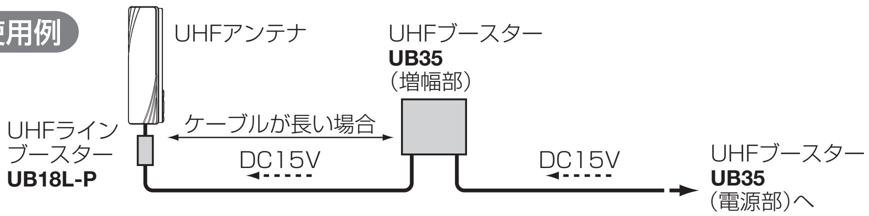
ご注意

● 別売のUHFラインブースター **UB18L-P**を接続しない場合、UHF給電スイッチを必ず「**OFF**」にしてください。「**ON**」にして接続すると、故障の原因となります。
● 別売のUHFラインブースター **UB18L-P**にブースターの電源部から電源（DC15V）を供給する場合、UHFラインブースターの電源部Ⓐ、Ⓑ（**UB18L-P**の取扱説明書参照）を必ず取外してください。

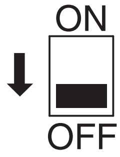
UHFラインブースターを接続する場合



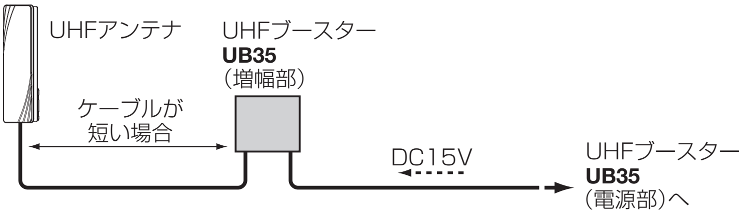
使用例



UHFラインブースターを接続しない場合



使用例



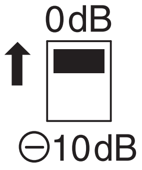
ブースターを調整する つづき

2. 入力レベルを調整する

- 入力レベルは、ブースターの入力端子に接続する75Ωケーブルにレベルチェッカーなどを接続して測定します。
- UHFアンテナからの入力レベルが p.16「**規格表**」の実用入力レベルより高い場合、外付けATTで、ブースターの入力レベルを調整します。
- 入力レベルは、入力レベル調整スイッチで、「**0dB**」と「**⊖10dB**」を切換えて調整できます。

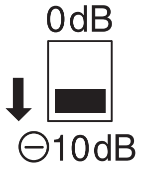
入力レベルが低い場合

入力レベル調整スイッチを「**0dB**」にします。



入力レベルが高い場合

入力レベル調整スイッチを「**⊖10dB**」にします。

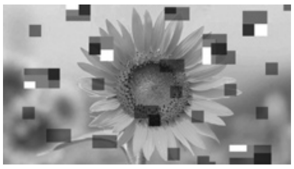


出荷時は「**⊖10dB**」になっています。

画像を見ながら調整する場合

デジタル放送では、ブースターへの入力レベルが低くても高くても症状は同じで、モザイク状のノイズが出たり、映らなくなったりしますから、この症状が出ないように調整します。

モザイク状のノイズ



3. 出力レベルを調整する

- ブースターの出力レベルが p.16「**規格表**」の定格出力レベルより高い場合、利得調整で、ブースターの出力レベルを調整します。
- デジタルテレビやデジタルチューナーへの入力レベルが低いまたは高い場合、利得調整で、ブースターの出力レベルを調整します。
- 出力レベルは、利得調整で、「**0〜⊖10dB**」連続して調整できます。
- 出力レベルは、出力測定端子にレベルチェッカーなどを接続して測定します。（測定値＋20dB＝出力レベル）

出力レベルが低い場合

利得調整を㊨へゆっくり回します。

出力レベルが高い場合

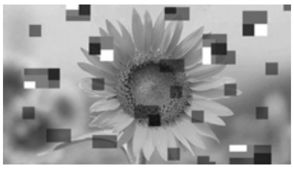
利得調整を㊧へゆっくり回します。

出荷時は「**MIN.**」になっています。

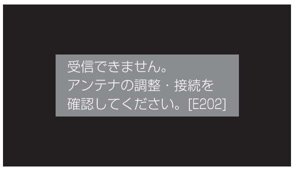
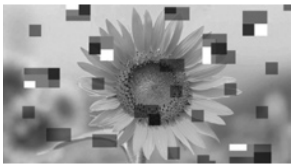
画像を見ながら調整する場合

デジタル放送では、デジタルテレビやデジタルチューナーへの入力レベルが低くても高くても症状は同じで、モザイク状のノイズが出たり、映らなくなったりしますから、この症状が出ないように調整します。

モザイク状のノイズ



テレビがきれいに見られないときは

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置</th></tr>
<tr>
<td>画像が出ない

●画面に表示されるメッセージは、一例です。
●p.12「ブースターの接続を確認する」もご覧ください。</td>
<td>電源が供給されていない。</td>
<td>●増幅部の電源(増幅部作動)表示灯が「緑」に点灯し、電源部の電源(電源部作動)表示灯の「緑」の表示灯のみ点灯していますか。
(p.12「ブースターの接続を確認する」をご覧ください)
●増幅部の出力端子に、DC15Vが供給されているか確認してください。
(出力端子に接続するケーブルのF型コネクターにテスターを接続して確認できます。)
●F型コネクターの芯線が短かったり、芯線にあみ線(編組)やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。
●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。
●増幅部と電源部の間に、電流通過しない機器が接続されていないか確認してください。</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">画像にモザイク状のノイズが出ている
</td>
<td>UHFアンテナからの入力レベルが低い。</td>
<td>●入力レベル調整スイッチを「0dB」にし、利得調整を (右) へゆっくり回してください。
(それでも画像が改善されないときは、UHFアンテナの高さや位置を調整すると、画像が改善されることがあります。)</td>
</tr>
<tr>
<td>UHFアンテナからの入力レベルが高い。</td>
<td>●入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし、利得調整が「MIN.」でないときは、利得調整を (左) へゆっくり回してください。</td>
</tr>
</table>

規格表

増幅部

MASPRO

項目 *Items*	規格
伝送周波数帯域 *Frequency Range*	470 ～ 710MHz（UHF ch.13 ～ 52）
利得 *Gain*	**UB35**：32 ～ 37dB **UB41**：38 ～ 43dB
入力レベル調整 *Input Level Control*	0、㊀10dB切換
利得調整範囲 *Gain Control Range*	0 ～ ㊀10dB以上（連続可変）
雑音指数 *Noise Figure*	1.5dB以下
実用入力レベル *Operating Input Level*	**UB35**：41 ～ 88dBμV ※ **UB41**：41 ～ 82dBμV ※
定格出力レベル *Rated Output Level*	105dBμV（９波）
相互変調（IM_3） *Intermoduration*	㊀68dB以下
VSWR *Voltage Standing Wave Ratio*	3以下
入・出力インピーダンス *Input/Output Impedance*	75Ω（F型コネクター）
出力測定端子結合量 *Tap Value of Output Test Point*	㊀ 20dB
電源 *Power Requirements*	DC15V　0.07A（UHF給電0.1A時：0.17A）
使用温度範囲 *Temperature Range*	㊀20 ～ ㊉50˚C
外観寸法 *Dimensions*	87（H）×113（W）×54（D）mm
質量（重量） *Weight*	約310g

※ 入力レベル調整スイッチを「㊀10dB」にし、利得調整を「MIN.」にしたときの、最大の実用入力レベルです。

電源部（BPS5B）

MASPRO

項目 *Items*	規格
1次電圧 *Primary Voltage*	AC100V　50・60Hz
消費電力 *Power Consumption*	1.7W（UHF給電0.1A時：3.7W）
出力電圧（電流） *Output Voltage/Current*	DC15V（最大0.5A）
入・出力インピーダンス *Input/Output Impedance*	75Ω（F型コネクター）
挿入損失 *Insertion Loss*	2dB以下（10 ～ 2602MHz）
使用温度範囲 *Temperature Range*	㊀10 ～ ㊉40℃
外観寸法 *Dimensions*	32（H）×112（W）×69（D）mm
質量（重量） *Weight*	約210g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

MASter of PROduction
生産の覇者

UHFブースター保証書　MODEL □UB35、□UB41

（お買上げの製品の型式にチェックを入れてください。）

お客様ご住所 TEL.　　　－　　　－	
★お客様お名前 様	
★保証期間（販売店記入欄） お買上げ日　　年　　月　　日から１年間	
★販売店名・住所（販売店記入欄） TEL.　　　－　　　－	

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書（領収書など）のない場合、無効になります。
本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

持込修理

○ 取扱説明書などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。

○ 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
- 本書のご提示がない場合。
- 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
- 本書の字句を書換えられた場合。
- 火災、地震, 風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
- ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- 不当な修理や改造による故障および損傷。
- お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- 他の機器などにより誘発する故障および損傷。
- 一般家庭用以外（例えば業務用や車両・船舶への搭載など）に使用されたときの故障および損傷。
- 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。

○ 本書は日本国内に限り有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

見本

＝マスプロ電工株式会社＝
本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
営業推進部　TEL名古屋（052）802-2244

2K56-455

だ・か・ら eco　環境負荷物質を抑止
特定有害物質使用規制（RoHS指令）対応

製品向上のため　仕様・外観は変更することがあります。

＝マスプロ電工＝

本社　〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
技術相談
ナビダイヤル® 0570-091119
固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP・PHS（ナビダイヤルが利用できない）電話からは **052-805-3366**
受付時間　9～12時、13～17時（土・日・祝日、当社休業日を除く）
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

首都圏（シ）（03）3499-5632
西日本（シ）（082）230-2359
中日本（シ）（06）6632-1144
北日本（シ）（022）786-5062

福　岡（支）（092）524-7600
沖　縄　（098）854-2768
鹿児島　（099）812-1200
宮　崎　（0985）25-3877
熊　本　（096）381-7626
長　崎　（095）864-6001
北九州　（093）941-4026

広　島（支）（082）230-2351
下　関　（083）255-1130
松　江　（0852）21-5341
岡　山　（086）252-5800
松　山　（089）905-7017
高　知　（088）882-0991
高　松　（087）865-3666

大　阪（支）（06）6635-2222
姫　路　（079）234-6669
京　都　（075）646-3800

名古屋（支）（052）802-2233
津　（059）234-0261

岐　阜　（058）275-0805
豊　橋　（0532）33-1500
静　岡　（054）283-2220
松　本　（0263）57-4625
福　井　（0776）23-8153
金　沢　（076）249-5301

東　京（支）（03）3409-5505
新　潟　（025）287-3155
横　浜　（045）784-1422
八王子　（042）637-1699
千　葉　（043）232-5335
さいたま　（048）663-8000
前　橋　（027）263-3767

水　戸　（029）248-3870
宇都宮　（028）636-1210

仙　台（支）（022）786-5060
郡　山　（024）952-0095
盛　岡　（019）641-1500
秋　田　（018）862-7523
青　森　（017）742-4227
札　幌　（011）782-0711
釧　路　（0154）23-8466
旭　川　（0166）25-3111

（シ）：システム営業グループ

AUG., 2012

KG(N)·28-5455-1T